

(3) 推進母体の組織化

女性グループネット千丁及び自主グループの活動支援

熊本県八代郡千丁町企画振興課男女共同参画推進係

(H17.4.1 現在人口 7,083 人)

TEL 0965-46-1101

FAX 0965-46-2010

メールアドレス sencho03@hinokuni-net.jp

ホームページ <http://www.1000town.hinokuni-net.jp/>

○ 目的・概要

平成6年4月、女性問題懇話会設置要綱公布、同月に懇話会設立の運びとなった。同会は8年2月に10項目からなる「行政への提言」を行い、その中に、女性グループ相互交流を促進するという項目があった。8年4月、7年度セミナー受講生による「千丁ウイミンズネットワーク」が結成され、11年7月に、い草を使った町おこしのための、手づくりの会「蘭・えるぶ」が結成された。

その後、14年1月、公募9名、委嘱21名で夢や希望を話しあう「まちづくり女性委員会」が発足し、検討審議、実践活動を経て2年後報告会を開催し解散、自主グループ「千丁まちづくり女性の会」となって独自の活動を開始した。現在も活き活き地域作りのための「日帰りグリーンツーリズム」を行い、今年5月からは町図書館と共催で「郷土を学ぶ会」も立ち上げた。この間、以前からあった、婦人会やJA八代女性部の団体だけではなく、目的意識を持ったグループ、お話ボランティア「山猫軒」や「抛りの会」などの自主グループが出来てきた。これらのグループはそれぞれに個別に活動をしていたが、男女共同参画社会をめざす時これらのグループ間の交流は必要不可欠であるとの思いで、準備会を行い、16年2月「女性グループネット千丁」が発足した。

○ 特徴

男女共同参画社会をめざす目的をもちながら、人と人とを繋ぐグループ「千丁ウイミンズネットワーク」や、い草を使った特産品を手がける手づくりの会「蘭・えるぶ」、千丁町をどのようにしたら住みよい町となるかを考えるグループ「千丁まちづくり女性の会」など、町おこしに関わるグループが増えている。特に、「蘭・えるぶ」は、い草を使ったタペストリーやリース作り、い草粉末を使ったクッキーづくりなどで活躍、13年12月、千丁町特産品販売所「美湯菜館」開館とともに作品出品、経営にも準備の段階から参画している。

この新しいグループと婦人会・JA八代女性部などの既存のグループとの交流はお互い同士驚かされた。既存の団体は、若い女性たちのチャレンジにエールを送り、若い人は若い人で既存の団体の年間を通じた地道な活動に驚かされた。このように、年を追う毎に女性たちのやる気とチャレンジ精神には目を見張るものがある。

○ 実施にあたって留意・工夫した点

平成7年度の女性セミナーは、今までに考えられていた「男らしく・女らしく」の価値観を心底から覆す画期的なセミナーであった。その受講生により結成した「千丁ウイミンズネットワーク」は、千丁町の男女共同参画を率いる先導力としての道を歩んだ。個性的な自主グループと活動方針が以前より決定している既存グループとの交流は、千丁町男女共同参画社会推進懇話会委員の参画もあり非常に好意的に進行し、チャレンジすることの意義を学んだ。

活動を支援するうえで、留意・工夫した点は、様々な性格をもち、年齢の幅、会員数の大小、特に男女共同参画に関する概念の違い等はあるけれど、そのグループ代表が同じテーブルについた時、自分達の意見を素直に伝える雰囲気作りと、発言に心配ることを心がけた。

しかし、発会式の時、各グループ代表に自分達のグループ紹介をおこなってもらったが、堂々と発言、「小さくても胡椒はからい」のたとえ通り、良い状態での進行となり、係の危惧に終わった。

○ 平成17年度における予算額・従事する職員数

平成17年8月1日市町村合併により「千丁町」から6市町村集まって、「八代市」となりました。よって、途中予算となりますので、16年度の男女共同参画決算額を記入します。

平成16年度決算額 565千円

従事職員数 1人(兼務)

○ 取組による効果、参考データ等

タケノコ状に乱立した各女性団体、グループは、女性グループネット千丁を結成したことで、参画したグループ間の話し合いが出来、なごやかな友好関係を築くことが出来た。

発足前の話になるが、町の公民館調理室改修工事に伴う要望書提出のため、各グループが集合し、独自に他町の新しい調理室見学、自分達の意見を取りまとめ、町公民館長に提出、改修プランに入れてもらった経緯がある。

そして発足後、町と協賛で行った「発会式記念講演会」、「女性のつどい2005」は各グループの選出員で、各々役割分担し盛会であった。女性のつどいではワークショップを初めて開催、千丁まちづくり女性の会が「手づくりの特産品マップ」展示、千丁ウイミズネットワークが男女共同参画関連図書を150冊程集め展示、「なくせストーリー」DVD放映、また、新しくできた公民館調理室にて、い草粉末で作ったクッキーなどをつまみ歓談、整備された調理室を皆で喜び合った。自分達で企画立案し、事業を行うことは、楽しいことである事を経験した。

○ 今後の課題・方向性

今後の課題として、男女共同参画社会に関する啓発事業を更に進める必要がある。男女共同参画への理解が広がってきたとはいえ、その活動はまだまだ一握りの状態であり、女性グループネット千丁の活動は、男女共同参画に理解を示す人々を作り、広める集団活動である。

この2年の間、各グループ選出の研修会は開催したが、全員に呼びかける研修会を実施することができなかった。男女共同参画に関する意識向上や女性のチャレンジ報告など、パトリア千丁文化ホール（535席）での取り組みを行う必要があり、その時に、い草を使った町づくりを考える講演や、各団体に於ける自主ワークなど催してもらいたいものである。町おこしは、地域の人々が元気でないと成り立たない。特に、地域を担っている女性たちの元気が町を救うと思っている。

また、身近に迫った八代市郡市町村合併により千丁町における男女共同参画推進係の移管により、事務局は、団体からの選出となり、行政の関わりが今までとはかなり、減少していく。この点をどのように改善進行していくかがこれからの女性グループネット千丁と自主グループ活動の大きな課題と言える。

しかし、いかにそれをスムーズに行っていくかだが、今までに、培った10年にわたる女性達のエンパワーメント、自立心は動かされるものではなく、この女性行政から男女共同参画行政への取り組みは小さな町の女性達を元気づけた。県が行う地域リーダー育成事業国内研修派遣生は、平成6年度から毎年1名ずつ参加し、その11名は町の地域リーダーとして着実に歩み、更に、農業に活力を見出す女性農業アドバイザーの面々等、一人一人の自主活動からグループ活動へ、そして、地域活動へと広がり、町づくりへと続く。

○ その他特記事項

男女共同参画社会をめざす女性グループネット千丁の結成により、女性達の交流が進んだ。その中で、15・16年度に実施した岡山県早島町との姉妹都市交流事業に関与することになり、16年5月に実施した、姉妹都市交流事業派遣使節団の一員として、町内の女性グループ9人が同行し、花ござ手織り技術を取得した。（花ござは以前千丁町において足フミ式の花ござ手織り機が使われていたが、機械化のため40～50年程製織されなくなっていた。）その後、17年5月花ござ技術育成保存のために設立した「千丁町花ござ手織りの会」に女性グループネット千丁メンバーが多大な影響力を示した。

◆ 女性グループネット千丁構成団体

婦人会、JA女性部、フレッシュミズ部会、母子寡婦福祉会、千丁ウイミズネットワーク、手づくりの会「蘭・えるぶ」、抛りの会、千丁まちづくり女性の会、お話ボランティア「山猫軒」、食生活改善推進員協議会、老人クラブ連合会女性部

このほかに、平成14年・15年度開催の保育園児からお年寄りまで参加、出演者から観客総勢延1000人で行った「みんなで歌おうふるさとの歌祭り」や16年度実施のクラシックコンサート「天羽明恵 & 吉田浩之コンサート」など、全てに渡り男女共同参画は関わるということを示唆するうえで開催、多くの皆様に喜び楽しんでもらった。